

こんにちは 山田耕平 です

2017.3.2 No.264

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

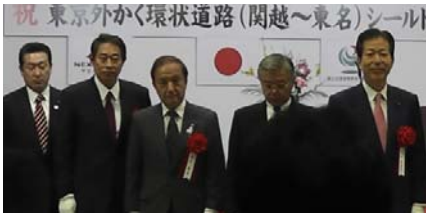
TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

東京外かく環状道路 東名ジャンクションでシールドマシン発進式

問題山積のままトンネル工事強行



計画推進を明言する田中区长

式典には、小池都知事、衆参議員、沿線自治体首長（練馬・杉並区长等）などが参加し、発進式への祝辞を述べました。小池都知事と石井国土交通大臣は「東名高速以南の計画の具体化を進める」と発言するなど、外環道をさらに南下させる方針を示しました。

小池都知事・石井国土交通大臣 東名高速「以南」にも言及



住民と共に抗議行動に参加しました。式典会場の周囲には、建設工事着工に反対する計画沿線住民が集まり、工事強行に抗議の声を上げました。宮本徹衆議院議員も駆け付け、住民と共に「工事の中止を」と訴えました。私と金子けんたろう区議も参加し、抗議の声を上げました。

抗議行動の面前で強行

2月19日（日）東京外かく環状道路（関越―東名区間）の東名JCT（ジャンクション）において、シールドマシン発進式が行なわれました。今後、全長約16キロのトンネル掘削工事が開始（東名JCT側）されます。

74名の沿線自治体議員が抗議声明

シールドマシン発進式に対して、計画沿線自治体議員有志74名が抗議声明を発表しています。

賛同

（沿線自治体議員）(世田谷)江口じゅん子、高岡じゅん子、たかじょう訓子、田中みち子、中里 光男、(狛江市)市原広子、岡村しん、鈴木悦夫、田中智子、宮坂良子、西村敦子、山本あき子、吉野芳子(調布市)雨宮幸男、井樋匡利、大河みとこ、岸本なお子、榊原登志子、二宮ようこ、武藤千里(三鷹市)伊沢けい子、大城みゆき、栗原健治、嶋崎英治、西尾勝彦、野村羊子、森徹(武蔵野市)西園寺みきこ、しばみのる、橋本しげき、本間昌代、山本ひとみ、(杉並区)市来とも子、奥田雅子、金子けんたろう、上保まさたけ、くすやま美紀、けいば誠一、新城せつこ、富田たく、原田あきら、松尾ゆり、山田耕平、(練馬区)有馬豊、かとうき桜子、きみがき圭子、坂尻まさゆき、島田拓、土屋としひろ、とや英津子、橋本けいこ、米沢ちひろ、やくし辰哉、やない克子、(他自治体議員)有賀精一、伊地智恭子、大沢ゆたか、大野ひろみ、片山かおる、斎藤ゆうこ、白石玲子、瀬野喜代、田頭祐子、田中和子、辻よし子、中村まさ子、奈須りえ、橋本久雄、ひだ紀子、日向美砂子、布施ゆめ、増田京子、森てるお、山口菊子(74名)

抗議声明全文はホームページをご覧ください。

これまで東名ジャンクション以南については「想定してない」とされておられ、大きく踏み込む発言です。外環道は道路の必要性を示す費用便益比（B/C）が低下し続けています。計画をさらに延伸する方針が示されたことは重大な問題です。

各地で続発する重大事故 安全軽視は許されない

地下空間を使用したトンネル工事では国内外で重大事故が多発しています。直近では、博多駅前の道路陥没事故、倉敷市での海底トンネル事故、アメリカ・シアトルでのシールドマシン事故等、数年間で重大事故が相次いでいます。

外環道計画では、大泉JCT側のシールドマシン発進現場の地質上の問題が明らかとなり、掘進開始の見直しもありません。

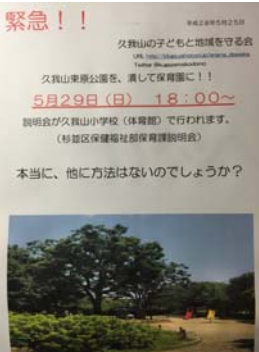
住宅街の直下で行なわれる工事にも関わらず、住民への情報提供や安全対策が極めて不十分なか、計画を強行することは許されません。

久我山東原公園の代替地確保が“妨害”されている！？

「噂話」で議会答弁 区長の姿勢が問われる

久我山東原公園保育所転用問題

久我山東原公園の周辺は公園用地が少なく、数十年前に住民の要望により現在の公園を整備した経緯があります。子どもたちの利用頻度も極めて高い公園です。今回、杉並区が強制的に保育所への転用を計画したことに対し、住民から怒りの声が広がっています。



公園存続を求める声
が広がった。

公園の代替用地確保は進まず：

今定例会の党区議団の一般質問では、保育所に転用された久我山・東原公園に関わる進捗状況を質しました。

この公園の転用について、区は「速やかに代替用地を確保する」「用途が付いている」などと繰り返して説明してきましたが、未だに代替地の確保に至っていません。住民への説明や議会答弁への責任が果たされていない現状に「住民の批判をかわすための口約束だったのではないか？」などの怒りの声が寄せられています。

区の失策の責任を住民に転嫁か

昨年11月の総務財政委員会において、田中区長は用地確保について触れ「区に協力しないでくれと言って回っている人がどうもいる」などと発言。議会質問への答弁としては重大な発言であり、近隣住民からも困惑の声が広がっています。

一般質問では、発言の真意を問いましたが、区長は答弁に立たず所管部長が「複数の情報に基づいた事実を申し上げた」と答弁。再質問で根拠を示すべきと求めたところ「ま、そういうことです」などと答弁を避けました。

代替地確保が進まない状況について、根拠も無い「噂話」を引き合いに出し、さも事実のように語り、住民に責任転嫁する姿勢は問題です。

区長は政治姿勢を正すべき

この間、田中区長は議会での公式発言を軽視しており、その場での思い付きや感情に任せた答弁姿勢が目立っています。自治体首長の責任ある態度とは到底言えず、傍聴した区民からも批判の声が相次いでいます。

育メン日誌

卒園までのカウントダウン

3月に入り、息子の卒園まで、あと一カ月余りとなりました。月日が経つのは早いもので、赤ちゃんの時からお世話になってきた保育園での生活も残り僅かです。

卒園に向けて、保護者達から子ども達へのお祝いと先生への感謝を込めたイベントを準備しています。保護者有志で歌を作り、演劇「桃太郎」を披露します。私も戦隊ヒーローに扮して登場予定です(子どもには秘密)。

なぜ、「桃太郎」に戦隊ヒーロー？今は明かせません(笑)。

日々、忙しくしている保護者達が子ども達のために猛奮闘している姿は励まされます。頑張るぞ！



劇の準備も大変です(泣)

杉並でも「野党は共闘！」 市民と4野党が合同宣伝

2月18日(土)高円寺駅前「自由と平和のために行動する議員と市民の会@杉並」主催で、4野党(民進党、共産党、自由党、社民党)と市民の合同宣伝が行なわれました。4野党の代表や市民が「野党と市民の共同で安倍政権の暴走を止めよう」と訴えました。

共産党からは吉良よし子参院議員、おさない史子衆院東京8区予定候補、吉田信夫都議会議員、党杉並区議団6名が参加しました。



杉並区では、野党と市民の共同が進み始めている。